

## 医学研究実施のお知らせ

本院臨床研究審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人）で、この研究についてくわしくお知りになりたい場合、この研究に資料や情報を利用することをご了解できない場合（すでに研究結果が公表されている場合には、ご希望に添えない場合もあります）には、【問い合わせ先】へご連絡ください。

【研究課題名】心室性期外収縮の早期性マッピングにおける単極電位マッピングと双極電位マッピングにおける空間的差異に関する後ろ向き研究

### 【研究の概要】

#### ●目的

心室性期外収縮に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術の際に単極誘導を基礎とした最早期興奮部位マップと手で調整した双極電位による最早期興奮部位マップとの空間的差を検証し、その空間的差異が治療に及ぼす影響（有益性・安全性及びリスク）を明らかにし、更に質の高い医療を目指すことを目的とする。

#### ●研究期間

倫理委員会承認日～2024年12月31日まで、研究の実施を予定している。

#### ●研究の方法

2018年6月以降心室性期外収縮に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術の際に、術前に心電図所見より心室性期外収縮の最早期部位と予測できる部位に対して心室性期外収縮の早期性マッピングを単極誘導を基礎としたwave front annotationで実施したマップを、オフライン解析で双極電位の最早期部位に位置を一点一点修正としたマップを作成する。2つのマップはいずれも等時性マップ（isochronal map）を作成し、最早期の等電位部位の空間的差異、及び、経皮的カテーテルアブレーションの手技データを評価する。通常の診療で得られた記録とともにまとめ、後ろ向きで解析を行う。

#### ●対象となる方

東大和病院 循環器科にて2018年6月1日～2023年12月31日までの間に心室性期外収縮に対し、心室性期外収縮に対し上記早期性マッピングを施行した経皮的カテーテル心筋焼灼術を施行されたすべての患者

#### ●研究に利用する試料、情報等

情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、画像検査、心電図検査、内服薬、心室性期外収縮に対する経皮的カテーテル心筋焼灼時の手技データ、経皮的カテーテル心筋焼灼後心室性期外収縮の再発率、等

#### ●外部への情報・資料の提供

なし

#### ●個人情報の取り扱い

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定できる情報は利用いたしません。

#### ●その他

本研究には資金提供はなく、開示すべき利益相反はありません。

問い合わせ先 （対応時間：平日9:00～17:00）

東大和病院 循環器科

研究代表者：長瀬 宇彦 電話：042-562-1411